

玉江校区コミュニティプラン

第2期（2024年度～2028年度）



（令和5年度 地元消防分団とのふれあいのつどい）

玉江校区コミュニティ協議会

所在地 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-35-1

電話 099-813-7125

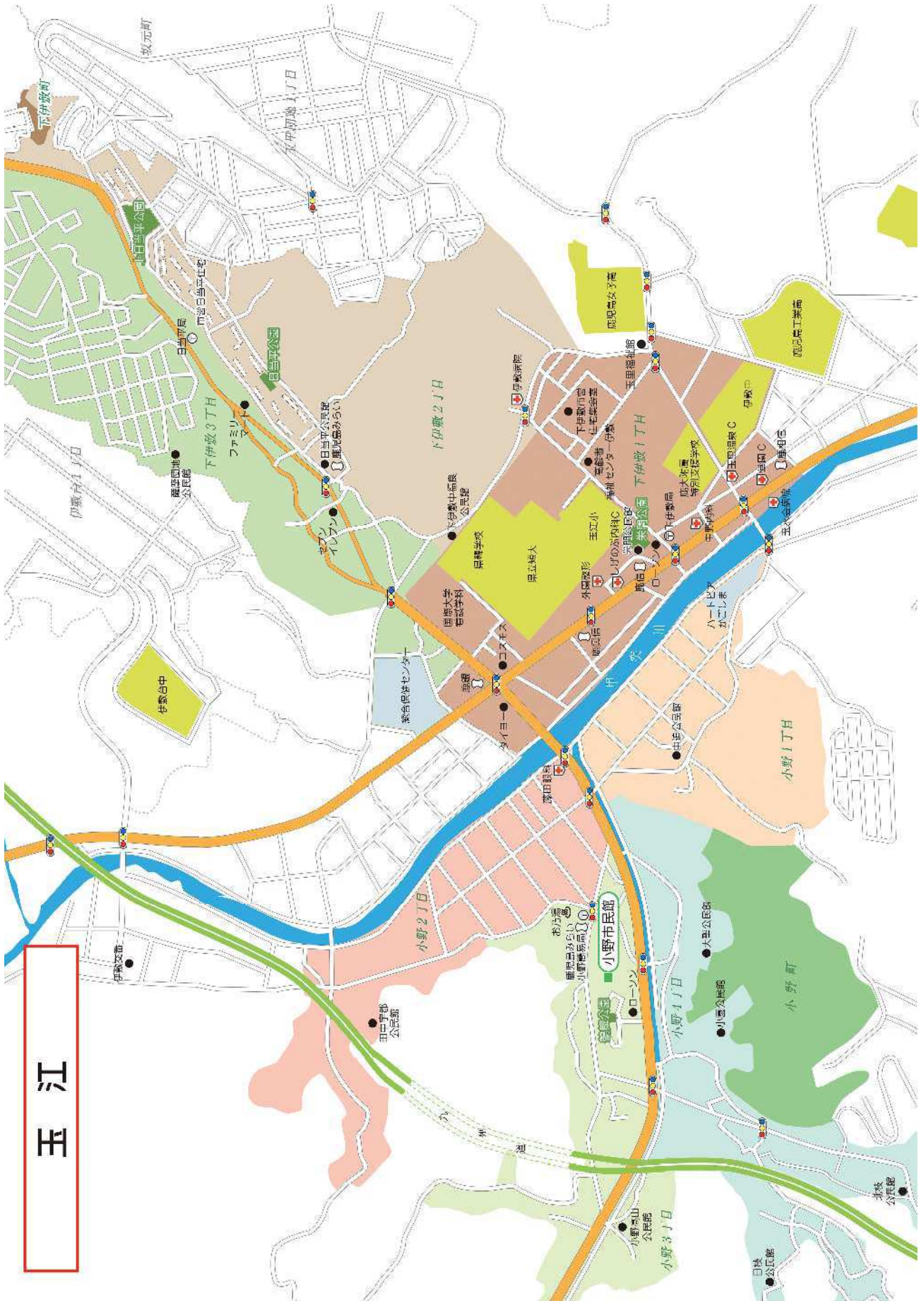
Fax 099-813-7126

E-mail qqdb2rw9k@vega.ocn.ne.jp

目 次

1	私たちの校区	1
2	コミュニティプランとは	2
3	校区の現状	3～8
4	第1期プラン事業の評価	8～9
5	4つの取組	10
6	まちづくりの目標	10
7	推進組織と主な活動（体系表）	11
8	玉江校区コミュニティプラン(事業計画)	12～13
9	資 料	14
	(1) プラン策定までの経緯	15
	(2) プラン策定委員	15
	(3) 校区コミュニティ協議会構成団体	16～17
	(4) 玉江校区周辺の避難場所	18
	(5) 指定緊急避難場所（兼指定避難所）	19

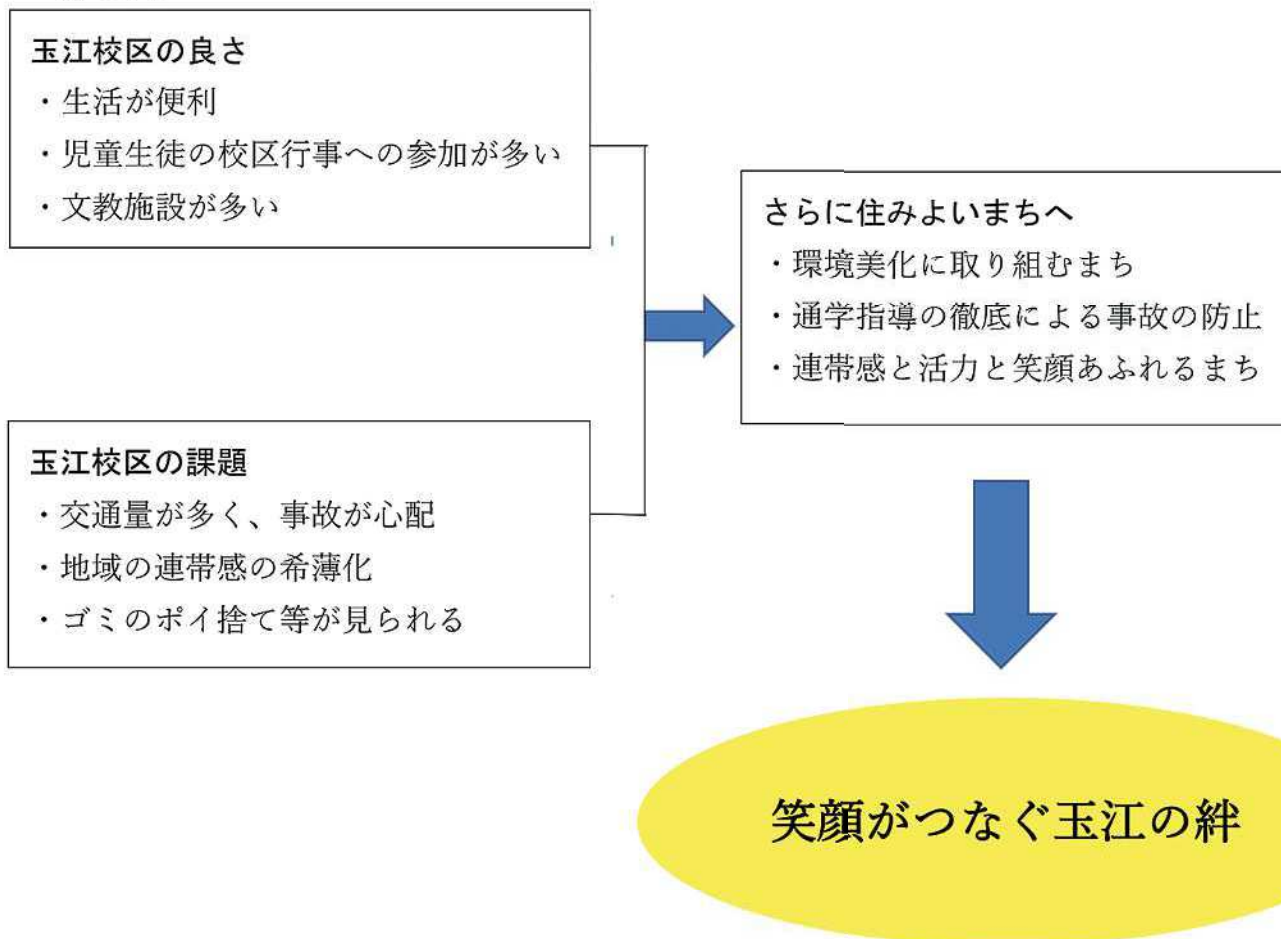
1 私たちの校区



2 コミュニティプランとは

コミュニティプランとは、私たちが住んでいる玉江校区のさまざまな課題を解決し、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいくための具体的な計画です。

今回は、第2期のプランとなり、計画期間は2024年度から2028年度までの5年間です。



(国道3号線一下伊敷1丁目付近)



3 校区の現状

私たちの玉江校区は鹿児島市の北西部に位置しています。甲突川をはさんで東部が下伊敷、西部が小野になり、周囲を小高い山に囲まれた自然豊かな地域です。

校区コミュニティ協議会や町内会、PTAなどを中心に、青少年健全育成や世代間交流、伝統行事の継承などに住民が一体となって取り組んでいます。

(1) 人 口 12,610人(令和5年10月1日現在)

(2) 世 帯 数 6,218世帯(令和5年10月1日現在)

(3) 高齢化率 30.8%(令和5年10月1日現在)

※(1)から(3)の詳細は7ページの「玉江校区の世帯数・人口の推移」、「玉江校区の高齢化率」の表参照。同じく、玉江小学校の児童数及び伊敷中学校の生徒数の推移、防犯灯設置数の推移、人身事故等の推移については8ページの表参照。

(4) 教育施設(令和5年10月1日現在)



【鹿児島市立玉江小学校】



【鹿児島市立伊敷中学校】



【鹿児島県立鹿児島聾学校】



【鹿児島大学附属特別支援学校】



【鹿児島県立短期大学】



【鹿児島国際大学伊敷キャンパス看護学部看護学科】

(5) 主な自然環境・史跡等



【栄門橋から見た甲突川】



【石橋公園の旧玉江橋】



【伊邇色神社 (下伊敷 2 丁目)】



【日枝神社 (小野 4 丁目)】



【六地藏尊 (小野 3 丁目)】



【玉里邸 (玉里町)】



【聖之宮跡（小野4丁目）】



【歩兵第45連隊兵営正門後（現：県立短大）】



【玉江小学校学校林（下伊敷2丁目）】



【妙谷寺跡（下伊敷2丁目）】



【幸加木神社（小野3丁目）】



【南泉院歴代住職の墓（小野3丁目）】

(6) 主な伝統行事等



【校区文化祭】



【地域ふれあいデー餅つき大会】



【グラウンドゴルフ大会 世代間交流】



【あいご体育大会】



【二十歳のつどい】



【青少年のつどい】

(7) 主な公共施設



【玉江校区公民館】



【ハートピアかごしま】



【高齢者福祉センター伊敷】 (西部親子のつどいの広場いしきらら)



【県民総合保健センター】



【玉里福祉館】



【小野市民館】

(8) 玉江校区の世帯数・人口の推移

(単位：世帯、人口)

町名	平成20年9月30日		平成25年9月30日		平成30年10月1日		令和5年10月1日	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
下伊敷町	32	55	39	67	39	68	38	71
下伊敷1丁目	1,538	2,966	1,522	2,979	1,505	2,913	1,368	2,574
下伊敷2丁目	1,124	2,393	1,127	2,322	987	1,917	912	1,701
下伊敷3丁目	1,478	3,215	1,494	3,095	1,460	3,034	1,417	2,919
下伊敷小計	4,172	8,629	4,182	8,463	3,991	7,932	3,375	7,265
小野町	110	181	98	166	93	155	75	117
小野1丁目	458	1,050	466	1,029	464	1,017	445	922
小野2丁目	746	1,862	759	1,819	781	1,795	766	1,687
小野3丁目	668	1,500	639	1,428	633	1,334	619	1,337
小野4丁目	546	1,230	565	1,292	574	1,324	578	1,282
小野小計	2,528	5,823	2,527	5,734	2,545	5,625	2,483	5,345
合計	6,700	14,452	6,709	14,197	6,536	13,557	6,218	12,610

出典：鹿児島市住民基本台帳

(9) 玉江校区の高齢化率（令和5年10月1日現在）

(単位：世帯、人、%)

町名	世帯	総人口(A)	うち65歳以上(B)	高齢化率(A)/(B)
下伊敷町	38	71	7	9.9
下伊敷1丁目	1,368	2,574	658	25.6
下伊敷2丁目	912	1,701	674	39.6
下伊敷3丁目	1,417	2,919	984	33.7
下伊敷小計	3,735	7,265	2,323	32.0
小野町	75	117	65	55.6
小野1丁目	445	922	304	33.0
小野2丁目	766	1,687	425	25.2
小野3丁目	619	1,337	406	30.4
小野4丁目	578	1,282	366	28.5
小野小計	2,483	5,345	1,566	29.3
合計	6,218	12,610	3,889	30.8

出典：鹿児島市住民基本台帳

参考—鹿児島市全体の高齢化率（令和5年10月1日現在）

(単位：世帯、人、%)

住居表示	世帯	総人口(A)	うち65歳以上(B)	高齢化率(A)/(B)
鹿児島市全体	300,880	591,440	170,514	28.8

出典：鹿児島市住民基本台帳

(10) 玉江小学校児童数の推移

(単位：人)

昭和48年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度
2,059	750	766	832	879	786

出典：玉江小学校 学校要覧

(11) 伊敷中学校生徒数の推移

(単位：人)

昭和53年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度
1,803	661	674	645	665	692

出典：伊敷中学校 学校要覧

(12) 玉江校区の防犯灯設置数の推移

(単位：基)

地 区	平成28年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
下伊敷	443	445	445	446	445
小 野	377	386	384	386	387
合 計	820	831	829	832	832

出典：鹿児島市安心安全課（防犯灯電気料補助金実績）

(13) 玉江校区人身事故件数の推移

(単位：件)

地 区	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
下伊敷	31	30	15	25	12
小 野	13	10	6	8	7
合 計	44	40	21	33	19

※：出典：鹿児島西警察署（令和5年度は10月末現在）

4 第1期プラン事業の評価

[総 括]

- (1) コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年から令和4年にかけて、子どもが参加する事業を中心に、多くの活動が制約を受けた。
- (2) このような中で、感染防止に留意しながら事業を行い、大きな成果を得たものもあった。（二十歳のつどい、地元消防団とのふれあいのつどい、歴史講座、社会学級など）
- (3) 一方、第1期プラン策定時には必要としながらも、活動をほとんどしなかった事業もあり、運営方法や予算面など、慎重に見極める必要がある。
- (4) また、運営面では事業を行う上で、核になる人材が限られている。このため、人材、特に青壮年層の発掘が急務である。併せて、高齢化が進む中で、有用な技能・知識を持った高齢者の活用も必要かと思われる。

◇ [事業ごとの評価表]

番号	事業名	評価	継・廃	事業のねらい・事業内容	担当部会
1	コミュニティプラン策定	B	継続	玉江校区における今後5年間のまちづくりの目標と方針策定	総
2	玉江かわら版発行	A	継続	本協議会の広報活動	総
3	二十歳のつどい	B	継続	二十歳の若者の前途を祝福する式	総
4	地域ふれあいデー	A	継続	杵、臼を使った餅つき体験	青
5	青少年のつどい	A	継続	立志式に合わせた世代間交流	青
6	地元消防団とのふれあいのつどい	A	継続	地元消防分団の指導による放水体験、AED操作 など	安
7	ちびっこ予報上	A	継続	雨量計づくりと雨量計測	安
8	防災・防犯パトロール	未実施	廃止	危険箇所点検と防犯パトロール	安
9	交通安全の促進	C	継続	通学路の安全確認と立哨	安
10	校区文化祭	A	継続	構成団体等による舞台出演、作品展示	社教
11	社会学級	A	継続	各種講座による生涯学習	社教
12	歴史講座	A	継続	地域資源を活用した校区の歴史の再発見	社教
13	グラウンドゴルフ大会	A	継続	グラウンドゴルフを通じた世代間交流	社体
14	あいご体育大会	C	継続	ドッジボール等による体力向上・交流促進	社体
15	親子体操普及活動	A	継続	親子間のスキンシップ推進・体力づくり	社体
16	認知症に関する講習会	未実施	継続	認知症を正しく理解するための講習会	社福
17	子育てサロン(0歳~3歳)	A	継続	地域全体での子育て支援	社福
18	地域福祉合同会議	B	廃止	民生委員児童委員と福祉関係者の意見交換	社福
※担当部会の表示 総---総務まちづくり部会 社教--社会教育部会 青---青少年育成部会 社体--社会体育部会 安---安心安全部会 社福--社会福祉部会			※総合評価の判定方法 ○各部会で担当する事業について、ねらい達成度、実施時期、実施場所、参加者数、運営の5項目について、5段階評価。5--とても良い 4--概ね良い 3--普通 2--やや悪い 1--とても悪い		
○5項目の5段階評価の平均点を算出し、下記に分類。 A-----4.0以上 B-----3.5~3.9 C-----2.5~3.4 D-----1.5~2.4 E-----1.4以下					

◇ [第2期プランに新たに導入する事業]

- I あいさつ通りでの声掛け運動(原則毎月第2土曜日)[全部会]
- II 介護講習会[社会福祉部会]
- III 防災キャンプ(災害に備えた避難生活体験)[安心安全部会]
- IV ニュースポーツ体験講座[社会体育部会]
- V 清掃活動(原則毎月第1水曜日)[全部会]

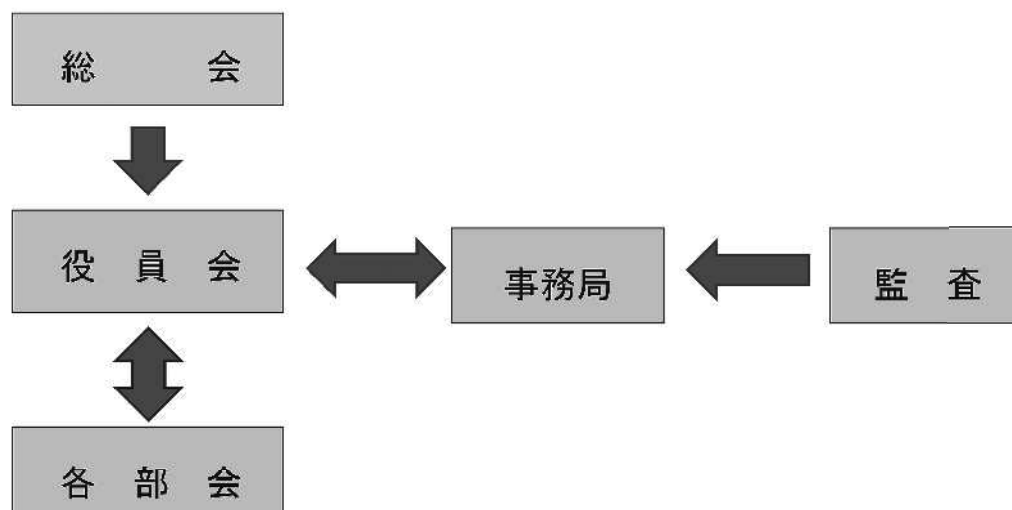
5 4つの取組

- (1) 子どもの健全育成
 - ア あいご会の活性化
 - イ 校区行事への参加呼びかけ
 - ウ 夜間パトロールの実施
- (2) あいさつの励行
 - ア あいさつ運動の充実（標語募集など）
 - イ あいさつ通りでの声掛け運動
- (3) 生活環境の改善
 - ア 美化活動
 - イ ゴミのポイ捨て禁止
 - ウ 校区内企業の協力要請
 - エ ふるさと守り隊の結成
- (4) 事故・防犯対策の強化
 - ア 交通ルールの指導徹底（地域住民が自宅周辺で下校時に指導）
 - イ 防犯灯の増設

6 まちづくりの目標

- (1) 玉江校区のスローガン
笑顔がつなぐ玉江の絆
- (2) 目指す未来像
玉江校区における身近な課題に地域一体となって取り組み、連帯感と笑顔あふれる地域社会を目指す。
- (3) 運営方針
 - ア 地域住民が連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の整備を図り、潤いと活力のある住みよいまちづくりをすすめる。
 - イ 子どもから高齢者までみんなが夢や希望をもち、共に助け合いながら楽しく生活できる豊かなまちづくりをすすめる。
 - ウ みんなで創るまちづくりを基本に役割分担し、各部会が主体となった積極的な活動に努める。
 - エ 各構成団体との連携・協調を図り、効率的な事業推進に努める。
 - オ コミュニティプラン（地域振興計画）をもとに、自助・共助によるプランの実現を目指すとともに、行政や関係機関との連携による活動（公助）の充実を図る。

7 推進組織と主な活動（体系表）



部会名	基本方針	主な活動内容
総務まちづくり部会	住みよい地域の環境づくりを基盤に、お互いの連帯意識に支えられた活力あるまちづくりのため、地域課題を的確に捉え諸施策の積極的な企画や取組に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティプランの策定 ・地区課題の集約 ・二十歳のつどい ・広報紙の発行など
青少年育成部会	次代のふるさとを担う青少年の“こころとからだ”の健全な育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開して、地域の教育力の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・声かけ運動の推進 ・地域ふれあいデー ・青少年のつどいなど
安心安全部会	地域の安心安全を確保するため、火災、地震、風水害等に対する防災意識の啓発や犯罪の未然防止活動、危険箇所点検等を通し、共助精神の向上を図り、防犯防災活動の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内危険箇所の点検 ・消防分団とのふれあいのつどい ・ちびっこ予報士（簡易雨量計づくり）など
社会教育部会	明るく住みよい地域にするために、校区の歴史と文化を継承し、生きがいづくりやまちづくりについて学ぶ気風を高めるとともに、進んで生涯学習に取り組む意欲の形成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの歴史文化の伝承 ・校区文化祭の実施 ・歴史講座 ・ボランティア活動の拡充など
社会体育部会	地域住民の健康の保持増進とスポーツレクリエーション活動の推進を図り、併せて地域住民の親睦や連帯意識を深めるとともに、住民総参加の活力あるまちづくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・親子ふれあい体操の普及 ・フライングデスクなどニュースポーツ体験講座など
社会福祉部会	福祉に関する校区の課題解決や地域資源を生かした活動に取り組むため、お互いに助け合う「共助」や住民同士のつながりを大切にするまちづくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への支援 ・介護に関する講習会 ・認知症に関する講習会など

8 玉江校区コミュニティプラン（事業計画）

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画スケジュール（予定）						区分	担当部会	
				R6年 1年目	R7年 2年目	R8年 3年目	R9年 4年目	R10年 5年目	継続・新規 共催			
1	コミュニティプラン策定	今後5年間の活動方針	玉江校区におけるまちづくりの目標と方針及び事業計画の策定								継続	総
2	玉江かわら版の発行	玉江校区コミュニティ協議会の広報活動	情報共有による地域一体となった住みよいまちづくり	○	○	○	○	○	○	○	継続	総
3	二十歳のつどい	地域での二十歳の祝い	二十歳の若者の前途を祝し、さらなる成長を祈願	○	○	○	○	○	○	○	継続	総
4	地域ふれあいデー	杵、白を使った餅つき体験	伝統の継承、世代間の交流による親和と連帯意識の向上	○	○	○	○	○	○	○	継続	青
5	青少年のつどい	立志式に合わせたグラウンドゴルフ大会	世代間交流を通じての健全な心身の育成	○	○	○	○	○	○	○	継続	青
6	地元消防分団とのふれあいのつどい	地元消防分団の指導による放水体験、AED操作など	地元消防分団との交流、放水体験等による防災意識の向上	○	○	○	○	○	○	○	継続	安
7	ちびっこ予報士	雨量計づくりと雨量計測	雨季における危険予知能力の育成	○	○	○	○	○	○	○	継続	安
8	防災・防犯パトロール	校区危険箇所点検と防犯パトロール	危険箇所の周知と防災意識の向上並びに非行・犯罪の未然防止	○	○	○	○	○	○	○	継続	安
9	交通安全の促進	通学路の安全確認と立哨	児童生徒や地域住民の交通事故の未然防止	○	○	○	○	○	○	○	継続	安
10	校区文化祭	町内会やコミュニティ協議会構成団体に舞台出演、作品展示	校区住民の学習成果発表と親睦及び潤いと活力あるまちづくり	○	○	○	○	○	○	○	継続	社教
11	社会学級	各種講座や料理などの実技体験	生涯学習の推進	○	○	○	○	○	○	○	継続	社教

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画スケジュール(予定)						担当 部会	
				R6年 1年目	R7年 2年目	R8年 3年目	R9年 4年目	R10年 5年目	継続・新規 共催		
12	歴史講座	校区内の遺跡等を活用した講座	校区の歴史の再発見と地域資源の活用によるまちづくり	○	○	○	○	○	○	継続	社教
13	グラウンドゴルフ大会	小学生と校区住民で構成したグラウンドゴルフ大会	世代間の交流	○	○	○	○	○	○	継続	社体
14	あいご体育大会	各町内会対抗のドッジボール大会(こども)及びソフトラバレー大会(保護者・校区住民)	暑い最中での競技を通じた体力の向上と地域間の交流促進	○	○	○	○	○	○	継続	社体
15	親子体操普及活動	校区コミュニティ協議会で作成した「親子体操パンフレット」を活用した体操の普及	親子間のスキンシップの推進と健康・体力づくり	○	○	○	○	○	○	継続	社体
16	認知症に関する講習会	認知症を正しく理解するための講習会	認知症の人やその家族を地域で見守る体制の構築	○	○	○	○	○	○	継続	社福
17	子育てサロン(0歳～3歳)	子育て世代の支援と子育て親子間の交流	地域全体での子育て支援	○	○	○	○	○	○	継続	社福
18	防災キャンプ	災害に備えた避難生活体験	学校の体育館等を活用し、避難時を想定した生活体験	○	○	○	○	○	○	新規	安
19	あいさつ声かけ運動	あいさつ通りでの大人の側から の声かけ	大人の側から声かけすることで、元気なあいさつが飛び交う地域づくり	○	○	○	○	○	○	新規	青
20	ニューススポーツ体験講座	フライングデクスなどニューススポーツ体験講座	ニューススポーツを通じた親子間のスキンシップと体力向上	○	○	○	○	○	○	新規	社体
21	介護講習会	介護に必要な知識の習得と車イスなどの実技体験	介護を必要とする人を抱える家族などを対象とした、介護に関する知識の習得や介護器具の実技体験	○	○	○	○	○	○	新規	社福

9 資料

- (1) プラン策定までの経緯
- (2) プラン策定委員
- (3) 校区コミュニティ協議会構成団体一覧
- (4) 玉江校区周辺の避難場所
- (5) 指定緊急避難場所（兼指定避難場所）



(1) プラン策定までの経緯

年 月 日	活 動 内 容	協 議 事 項
令和4. 6. 22	策定委員候補者への就任依頼	・第2期プランの策定に係る協力要請
令和4. 7. 6	第1回コミュニティプラン策定委員会	・第2期プランの策定スケジュール ・第1期事業評価表の様式など
令和4. 9. 21	第2回コミュニティプラン策定委員会	・第1期事業の点検評価 ・第2期プランのコンセプト など
令和5. 2. 27	第3回コミュニティプラン策定委員会	・第2期プランの骨格・概要 ・今後のスケジュール
令和5. 9. 20	第4回コミュニティプラン策定委員会	・第2期プランの骨格・構成 ・今後のスケジュール
令和5. 12. 21	第5回コミュニティプラン策定委員会	・第2期プランの全体案作成 ・今後のスケジュール
令和6. 2. 1	第6回コミュニティプラン策定委員会	・第2期プランの最終校正 ・今後のスケジュール
令和6. 3.		・第2期プランの発行

(2) プラン策定委員

N o	役 職 名	氏 名
1	玉江校区コミュニティ協議会 会長	飯 田 博
2	玉江校区コミュニティ協議会 副会長	比良田 輝 明
3	同協議会 総務まちづくり部会 部会長	米 山 太 助
4	同協議会 青少年育成部会 部会長	木 藤 浩 二
5	同協議会 安心安全部会 部会長	上仮屋 進
6	同協議会 社会教育部会 部会長	田 添 康 明
7	同協議会 社会体育部会 部会長	富 永 尚
8	同協議会 社会福祉部会 部会長	梶 原 祐 一 郎
9	玉江小学校 校長	佐々木 好 彦
10	伊敷中学校 校長	龍 義 文
11	同協議会 総務まちづくり部会 副部会長	赤 澤 耕 一
12	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	吉 松 隆 昌
13	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	金 山 悠 介
14	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	白 澤 愛
15	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	徳 田 健 一
16	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	平 田 ひろみ
17	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	田 中 正 信
18	同協議会 総務まちづくり部会 部会員	坂 口 喜代美

N o	役 職 名	氏 名
1	事務局職員	飯 田 博
2	事務局職員	増 田 恵津子

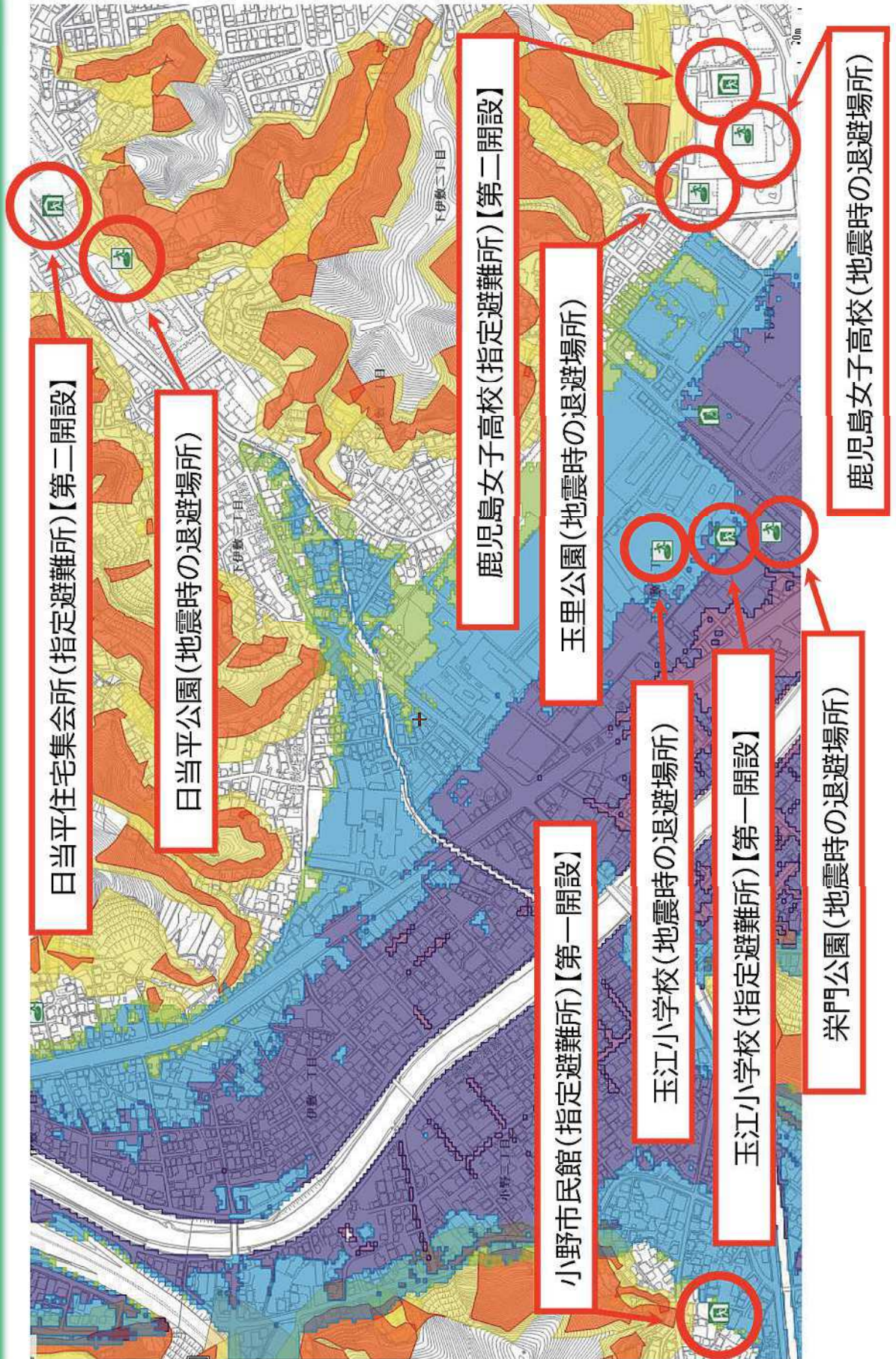
(3) 校区コミュニティ協議会構成団体（令和5年4月20日現在）

No	構 成 団 体	代 表 者 名
1	小野日枝町内会	田 中 正 信
2	梅ノ木町内会	飯 田 博
3	田中宇都町内会	新 山 真 作
4	田中宇都住宅親和会	有 村 義 範
5	小野平松町内会	徳 永 耕
6	小野北枝町内会	松 元 満 広
7	小野鶴之村町内会	末 吉 正 隆
8	小野中福良町内会	池 田 敏 孝
9	小野小園町内会	瀬 尾 重 俊
10	小野高山町内会	茶 園 正 二
11	松ノ口町内会	豊 留 博 信
12	小野一丁目中追町内会	赤 澤 耕 一
13	柴門町内会	秋 野 博 臣
14	下伊敷住宅睦会	比良田 輝 明
15	さつま団地町内会	徳 田 健 一
16	岩崎町内会	末 永 正 治
17	下伊敷住宅町内会	平 田 ひろみ
18	下伊敷中福良町内会	渡 山 志津代
19	日当平町内会	入 船 攻 一
20	日当平市住第一町内会	小笠原 義 夫
21	日当平市住第二町内会	倉 内 幸 子
22	日当平市住第三町内会	神 蘭 弘 昭
23	日当平市住第四町内会	大 山 広 子
24	日当平市住第五町内会	高 山 勝 巳
25-1	県下伊敷住宅一号棟	桑 原 美 奈
25-2	県下伊敷住宅一号棟	桑 原 美 奈
26	下伊敷県公舎二号棟	金 山 悠 介
27	玉江小学校	佐々木 好 彦
28	伊敷中学校	龍 義 文
29	鹿児島県立鹿児島聾学校	大 重 博 美
30	玉里自動車学校	井 上 良 太
31	鹿児島県立短期大学	吉 松 隆 昌
32	玉江小学校同窓会	坂 口 新 三
33	伊敷中学校同窓会	日笠山 繁 樹
34	いにしき幼稚園	森 田 永 寛
35	あけぼの幼稚園	原 口 洋
36	あたご保育園	久留須 のり子
37	玉里保育園	岡 崎 雅 子
38	下伊敷保育園	山 下 奈津美
39	玉水会病院	前 園 哲 也
40	グループホーム小野の里	河 野 一 紀

No	構成団体	代表者名
4 1	グループホームサン・ひまわり	上 仲 哉
4 2	ハートピアかごしま	田 中 正 浩
4 3	NPO 法人 SCC	太 田 敬 介
4 4	下伊敷消防分団	布 市 治
4 5	小野消防分団	上 仮 屋 進
4 6	安心・安全ネットワーク会議	飯 田 博
4 7	玉江小スクールゾーン委員会	末 吉 大 樹
4 8	青少年健全育成指導員	木 藤 浩 二
4 9	民生委員児童委員協議会	梶 原 祐 一 郎
5 0	玉江小根っこの会	渡 辺 健 太 郎
5 1	スポーツ推進員	富 永 尚
5 2	スポーツ推進員	今 井 雅 毅
5 3	児童クラブ運営委員会	増 留 貴 朗
5 4	校区社会福祉協議会	田 代 明 美
5 5	玉江小学校 PTA	富 永 尚
5 6	伊敷中学校 PTA	白 澤 愛
5 7	校区あいご会会長	米 山 太 助
5 8	校区あいご会主事	中 間 亜 希 子
5 9	下伊敷グラウンドゴルフ同好会	内 野 智
6 0	成人学級	小 村 悦 子
6 1	玉江未来研究会	田 添 康 明
6 2	玉江小家庭教育学級	浮 邊 孝 子
6 3	伊敷中家庭教育学級	大 園 理 恵
6 4	父親セミナー	久 保 英 昭
6 5	校区スポーツ少年団	森 佳 代
6 6	主任児童委員	今 村 純 子
6 7	主任児童委員	米 丸 久 美 子
6 8	イロドリ	福 永 一 喜
6 9	栄門つながるこのまち実行委員会	坂 口 喜 代 美
7 0	女性学級	末 永 ち り 子
7 1	協議会監事	有 川 武
7 2	協議会監事	久 保 久 和
7 3	協議会事務局	増 田 恵 津 子

(4) 玉江校区周辺の避難場所

玉江校区の避難場所



(5) 指定緊急避難場所(兼指定避難所)

指定緊急避難場所(兼指定避難所)

施設名	洪水	土砂	地震	開設順	施設名	洪水	土砂	地震	開設順
伊敷小学校	と	○	○	①	蒲ヶ原公民館	○	○	×	②
伊敷台小学校		○	○	②	中ノ甲公民館	○	○	×	①
花野小学校		○	○	②	萩別府公民館	○	○	×	①
小山田小学校		○	○	①	草牟田小学校	と	○	○	②
玉江小学校	△	○	○	①	西田小学校	△	○	○	①
西伊敷小学校	と	○	○	②	原良小学校	△	○	○	②
皆与志小学校	△	×	○	②	明和小学校	と	○	○	②
伊敷台福祉館	と	○	○	①	城西中学校	△	○	○	②
花野福祉館		○	○	①	鹿早島工業高校	△	○	○	①
西伊敷福祉館		○	○	①	鹿兒島女子高校	○	○	○	②
伊敷公民館	と	△	○	①	鶴丸高校	△	○	○	②
小野市民館	と	△	○	①	城西福祉館	と	○	○	①
かこしま健康の森公園	と	○	○	①	明和福祉館	と	○	○	①
日当平住宅集会所	と	×	○	②	西原商会アリーナ (鹿兒島アリーナ)	と	△	○	②
都市農業センター	と	○	○	②	城西公民館	と	△	○	①
千年公民館		○	×	②					
稲村下公民館		×	×	②					

【避難場所の災害種別ごとの安全性】

避難場所は、災害の種類ごとに、安全性が異なります。
 「○」は、避難できる施設です。
 「△」は、洪水時に浸水のおそれがあるが、同一敷地内に垂直避難できる場所がある施設です。
 (小中学校校舎等)
 「×」は、避難できない施設です。
 ※学校の避難場所は、原則、屋内運動場(体育館)です。(状況に応じて校舎の上層階を活用します)
 ※「★」がついている指定避難所には、大規模災害に備えた備蓄物資を保管しています。
 ※「と」がついている指定避難所には、障害者用トイレがあります。

【避難場所の開設順】

「①」は、災害時に優先的に開設する第一開設の避難場所です。
 「②」は、第一開設の避難場所のみでは、避難者を収容しきれない場合に開設する第二開設の避難場所です。(災害や避難の状況に応じて、随時追加して開設します)

自主避難する際には事前に

鹿兒島市役所(代表099-224-1111)又は、地域福祉課(099-216-1244)、各支所福祉課・保健福祉課にご連絡ください。

※夜間(17:15~翌8:30)及び土日初日は鹿兒島市役所(代表099-224-1111)にご連絡ください。